

せたがや自治政策

Setagaya Local Government Policy

Vol. 10

平成29年度せたがや自治政策研究所 研究・活動報告

【Ⅰ 研究報告】

〈家族に関する研究〉

- 1 経済的困難に直面する若年女性たち
- 2 生きづらさを抱える子どもたち
- 3 家族に関する研究を振り返る

〈都市空間の社会的特性〉

- 4 東京都区部における都心回帰と社会-空間構造の変容
- 5 世田谷の地域特性の析出

〈地方自治に関する研究〉

- 6 100万人都市世田谷の自治体経営を考える
- 7 住民自治の拡充と都市内分権

【Ⅱ 活動報告】

- 1 平成29年度実施報告
- 2 資料

せたがや自治政策研究所

研究・活動報告書の発行にあたって

せたがや自治政策研究所は平成 19 年 4 月に活動を始め、本年 4 月で 12 年目を迎えました。これまで、当研究所では「調査・政策研究の推進」、「政策立案の支援」、「情報資産の整備と活用」、「人材育成の促進」という 4 つの役割を軸とした取組みを展開しつつ政策形成基盤のさらなる強化を目指してまいりました。

研究所に与えられた責務は、中長期を展望した調査・政策研究を実施し、成果を区民と全庁各課に還元し、政策形成の基礎をつくとともに、知のネットワークを形成し地域生活の質を高めることにあります。なかでも調査・政策研究機能の充実が研究所にとりまして最も重要であると考えています。

29 年度の調査・政策研究は、1 つ目のテーマとして「家族に関する研究」に引き続き取り組みました。現代の社会情勢や経済状況の変化に伴い、家族のありようも多様化しています。こうしたなかで当事者が困難を感じながらも、見えにくくなっている社会的な課題があります。「経済的困難に直面する若年女性たち」では、若年女性の非正規雇用の増加とそれに関連する経済的困難に着目し、社会問題化されてこなかった状況と自治体の支援策について検討しています。「生きづらさを抱える子どもたち」では、乳幼児期から学齢期にかけての発達障害児支援において、家族によるケアのみに依存せず、地域の中で支える仕組みの重要性を論じています。

2 つ目に「都市空間の社会的特性」をテーマとして取り上げました。国勢調査等のデータを利用した「東京都区部における都心回帰と社会-空間構造の変容」、および当研究所が毎年継続している「世田谷の地域特性の析出」です。今回は、GIS（地理情報システム）を利用し、世田谷区を含む広域の都市空間との関連を視野に入れた分析をしています。

最後に、地方自治に関する研究として、世田谷区の今後の自治体経営と住民自治の拡充策を検討した「100 万人都市世田谷の自治体経営を考える」および「住民自治の拡充と都市内分権」を掲載しています。いずれも自治体職員による実践的な関心にもとづき調査研究をとりまとめています。

これらを通じまして、区民の方々への発信、全庁各課との協力関係をさらに進めてまいり所存です。今後も当研究所への変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

せたがや自治政策研究所
所長 森岡清志

目次

I 研究報告

〈家族に関する研究〉

- | | |
|--------------------|----|
| 1 経済的困難に直面する若年女性たち | 3 |
| 2 生きづらさを抱える子どもたち | 37 |
| 3 家族に関する研究を振り返る | 65 |

〈都市空間の社会的特性〉

- | | |
|----------------------------|----|
| 4 東京都区部における都心回帰と社会-空間構造の変容 | 73 |
| 5 世田谷の地域特性の析出 | 95 |

〈地方自治に関する研究〉

- | | |
|------------------------|-----|
| 6 100万人都市世田谷の自治体経営を考える | 117 |
| 7 住民自治の拡充と都市内分権 | 133 |

II 活動報告

- | | |
|--------------|-----|
| 1 平成29年度実施報告 | 157 |
| 2 資料 | 185 |